

製品名: HK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80877**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	HK1
別名	HK1; HXK1; HK1-ta; HK1-tb; HK1-tc; HK1
遺伝子 ID	3098.0
SwissProt ID	P19367
免疫原	大腸菌で発現したヒト HK1 の精製された組み換え断片。

背景

ヘキソキナーゼは、Mg-ATP をリン酸化供与体として利用し、細胞内グルコース代謝の最初のステップであるグルコースのグルコース-6-リン酸への変換を触媒します。ヘキソキナーゼには、ヘキソキナーゼ I (HXK I)、ヘキソキナーゼ II (HXK II)、ヘキソキナー

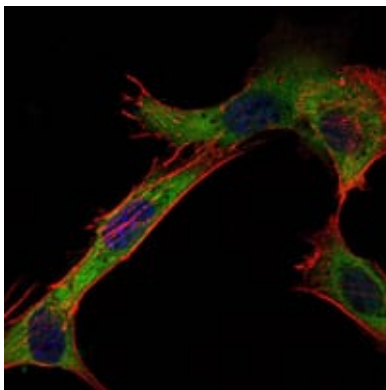
ゼ III (HXK III)、ヘキソキナーゼ IV (HXK IV、グルコキナーゼまたは GCK と呼ばれる) の 4 つのアイソザイムが同定されています。ヘキソキナーゼ I~III はそれぞれ、疎水性アミノ酸の N 末端クラスターを含みます。グルコキナーゼには、N 末端疎水性クラスターがありません。疎水性クラスターは膜結合に必要であると考えられています。これは、グルコキナーゼが他のヘキソキナーゼよりもグルコースに対する親和性が低いという知見によって実証されています。HK I は、脳、腎臓、心臓組織、および肝癌細胞株で発現することが確認されています。

研究分野

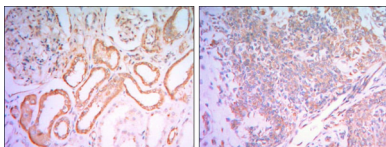
画像データ



Jurkat (1)、HeLa (2)、HepG2 (3)、MCF-7 (4)、PC-12 (5) 細胞溶解物に対する HK1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



HK1 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



HK1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト唾液腺組織(左)と腎臓組織(右)の免疫組織化学分析。